

令和3年度進行管理・評価シート
堺市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

（最終変更 令和4年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 (項目名) 歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 (項目名) 都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 (項目名) 百舌鳥古墳群整備事業 3

2 (項目名) 歴史的建造物保存修理事業 4

3 (項目名) 市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み 5

4 (項目名) 堺市地域文化遺産活用活性化事業 6

5 (項目名) ボランティアガイドの育成・支援 7

6 (項目名) 堺市地場産業振興事業補助事業 8

7 (項目名) 堺市伝統産業後継者育成事業補助事業 9

8 (項目名) まちなみ再生事業 10

9 (項目名) 百舌鳥古墳群に関する情報発信 11

10 (項目名) 環濠都市区域内における案内板の改善 12

11 (項目名) 史跡・重要文化財等公開事業 13

12 (項目名) 学校教育の場での茶の湯体験 14

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 (項目名) 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定 15

2 (項目名) 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業 16

3 (項目名) 文化財の防災 17

4 (項目名) 埋蔵文化財の取扱い 18

5 (項目名) 文化財に関する普及・啓発の取組み、
民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み 19

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 20

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 (項目名) 文化観光拠点における展示の充実による魅力の向上 21

2 (項目名) 環濠都市堺の魅力発信による意識醸成 22

3 (項目名) 自転車タクシー走行実験の実施 23

4 (項目名) 「SAKAI散走」の実施 24

5 (項目名) 民間事業者主導によるシェアサイクルの導入の検討 25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 26

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 計画実現のための推進体制として、歴史まちづくり法第11条第1項に基づく「堺市歴史的風致維持向上計画協議会」を「堺市歴史的風致維持向上協議会」に改編し、事業の進捗管理や連絡調整、計画変更に関する協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年2月に推進会議・幹事会を開催し、令和3年度の取組み状況や第2期計画について確認したほか、令和4年度の予算要求も踏まえた事業予定に関して情報共有・意見交換を行った。

- 令和4年2月10日 推進会議・幹事会開催
- 令和4年3月30日 協議会開催

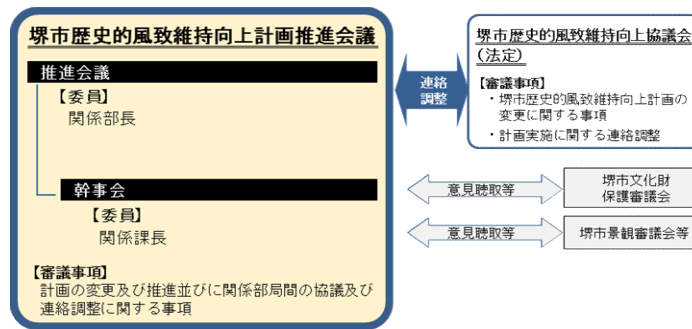
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

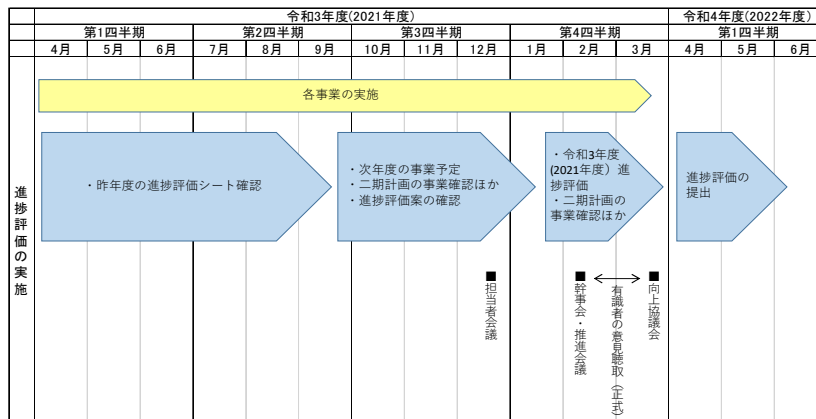
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○庁内の推進体制



○令和3年度取組スケジュール



○堺市歴史的風致維持向上計画推進会議及び協議会の開催



第1回堺市歴史的風致維持向上計画推進会議・幹事

堺市歴史的風致維持向上協議会(令和4年3月30日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

重点区域について、景観計画の取組みと連携し、歴史的風致の維持向上を図る。地域特性を踏まえた景観形成基準を策定し、都市計画法や景観法に基づく各種手法を活用するほか、景観重要建造物の指定や屋外広告物のあり方などを検討するなど、きめ細かい景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群及び周辺区域において、世界文化遺産登録も視野に古墳のあるまちとして相応しい景観づくりの一環として、平成28年に高度地区による「建築物の高さ制限」、景観地区による「建築物の色彩などの形態意匠の制限」、屋外広告物条例による「屋外広告物の大きさや高さ等の制限」を実施した。

以後、建築物については、景観地区の認定申請を通して建物の色彩等の調和を図り、屋外広告物については、同区域における既存不適格広告物の適正化に向けた補助金制度を活用し、早期適正化に向けた取組みを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観地区認定申請件数

景観地区認定申請件数						
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
申請件数	88	62	52	54	59	315

○屋外広告物適正化補助金制度の活用

百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化(件数)							
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	合計
補助金活用	2(1)	4(4)	9(9)	11(6)	9(4)	3(2)	38(26)
自費改修	3(1)	8(2)	16(2)	16(1)	2(0)	4(0)	49(6)
計	5(2)	12(6)	25(11)	27(7)	11(4)	7(2)	87(32)

※()は屋上広告物の適正化件数を示す。

○屋外広告物適正化事例



自立広告塔の撤去、屋上広告物の撤去事例



自立広告塔の改修、屋上広告物の撤去事例

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業)		
計画に記載している内容	百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
長塚古墳や塚廻古墳において樹木伐採など環境整備事業を実施し、墳丘の保護と視認化を図った。このことにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られる。 また御廟表塚古墳の整備に向けた実施設計を実施。 令和4年度は御廟表塚古墳の整備工事や、「史跡百舌鳥古墳群保存活用計画」の策定を行う予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
長塚古墳環境整備事業(高木伐採作業)(令和4年1月)			

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域において、歴史的街なみを構成する上で重要な鉄砲鍛冶屋敷(井上家住宅)をはじめとした歴史的価値の高い建造物について保存修理を行い、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○堺市指定有形文化財井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)保存修理工事を継続して実施 ○堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家文書の調査を継続して実施 ○整備に向けてクラウドファンディングによる寄付を募集(令和3年9月13日から12月11日) 60件 ○堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家パネル展を開催(10月7日～12日、12月8日～14日) ○令和3年11月5日～8日 鉄砲鍛冶屋敷 瓦記念会 参加者 約90名 ○令和3年11月14日 鉄砲鍛冶屋敷シンポジウム 参加者 95名 これらを実施することにより各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○鉄砲鍛冶屋敷保存修理工事			
			
主屋屋根解体状況 (令和3年6月9日撮影)		道具蔵小舞施工状況 (令和3年8月11日撮影)	
			
道具蔵土壁施工中 (令和4年1月27日撮影)			

○鉄砲鍛冶屋敷 瓦記名会



記名の様子



鉄砲鍛冶屋敷・保存修理工事について
パネル展示棟で紹介

○鉄砲鍛冶屋敷シンポジウム



シンポジウム広報ポスター

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 古墳を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、地域住民を中心に市民の理解と協力が必要である。そのため、市ではシンポジウムや講演会を開催し、百舌鳥古墳群や各々の古墳について市民が学び、考える機会を創出する。また、市民ボランティアが中心となって実施する古墳の清掃・美化活動について、ホームページへの掲載等の広報活動を行い、市民と行政が協働した保存管理に向けた相互の意識醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○親子で楽しむ古墳めぐりウォーキング(堺ライオンズクラブに協力 於:大仙公園)、市民主体の清掃活動である仁徳陵をまもり隊による清掃活動が中止。

○「百舌鳥古墳群魅力発掘講座」(全5回)(令和4年2月5日(土)～3月19日(土))を開催。

- 第1回 堺の古墳
- 第2回 大阪古墳探訪
- 第3回 和泉の古墳
- 第4回 松原の古墳
- 第5回 八尾の古墳

○「世界遺産 百舌鳥・古市古墳群を応援する堺市民の会と」協働で世界遺産・百舌鳥古墳群 特別公開を開催。令和4年3月27日(日) 公開した古墳:収塚古墳、長塚古墳、旗塚古墳、寺山南山古墳

○令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、上記の取組みを継続して行う予定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、今後も保存管理の意識の醸成を図るため、古墳群の価値をより多くの方に理解していただけるよう、市民や民間事業者とさらに連携し、オンライン開催を含め、講演会やイベント等の開催方法の検討を進める。

状況を示す写真や資料等



令和4年2月5日(土)
 百舌鳥古墳群魅力発掘講座
 第1回 堺の古墳—市内に残る古墳を訪ねて—



令和4年3月27日(日)
 世界遺産・百舌鳥古墳群 特別公開
 —古墳に登ろう！古墳を学ぼう！古墳を楽しもう！—

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
堺市地域文化遺産活用活性化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 地域文化財総合活用推進事業

計画に記載している内容 伝統文化の保存伝承団体等により構成される「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」(事務局:堺市文化財部)が、地域文化遺産の保存伝承を目的に事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域文化財総合活用推進事業

○地域文化遺産・地域計画等

普及啓発事業として、堺の出版文化と和綴じ体験ワークショップの1事業を実施。伝統的な工芸技術をはじめとした文化遺産を市民に広く普及し、理解を深めるため、町家歴史館など文化財公開施設を主な会場として、今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が上昇するとともに、市民が地域の文化遺産を再発見し、自らの地域を活性化していこうという意識醸成が図られた。

○地域無形文化遺産継承基盤整備

記録作成事業としては、だんじりの修理過程や曳行の様子を記録に残し、後継者養成事業では、講習会等により技術や歴史文化の継承につとめた。上神谷地域伝統文化用具等整備事業など合計16事業を実施することにより、地域の伝統文化継承の基盤を整備し、地域の伝統文化を一層活性化させることができた。

「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」構成団体(令和3年度)

堺こおどり保存会・船待神社神楽子供獅子保存会・美多彌神社流鏝馬保存会・堺式手織緞通技術保存協会・開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会・湊地域伝統文化保存伝承実行委員会・百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化保存伝承実行委員会・八田荘地域伝統文化保存継承実行委員会・津久野地域伝統文化保存継承実行委員会・上神谷地域伝統文化保存継承実行委員会)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



上神谷のこおどり後継者養成事業(堺こおどり保存会)での夏期練習の様子(令和3年7月27日撮影)



百舌鳥八幡宮月見祭伝統文化用具等整備事業でのふとん太鼓用の太鼓の修理の様子(令和3年6月22日撮影)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
ボランティアガイドの育成・支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	(公社)堺観光コンベンション協会、NPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、歴史文化資源を中心に市内の主な観光スポットでボランティアガイドが案内を行っている。 今後、本市の歴史文化資源に関する市内外への発信等に伴い、来訪者の増加も見込まれることから、更なるボランティアガイドの育成や、月1回程度の情報交換会の実施、新たな施設の実地研修などを通じて、その知識や技能の向上に向けた取り組みを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
研修・勉強会等の実施により、ボランティアガイド全体の知識や技能が向上したほか、来訪者対策の充実が図られた。 ○堺観光ボランティア入門講座 入門講座(10講座)を実施。 ○その他研修・勉強会 人権を含むマナー研修(7月) 刃物ミュージアム勉強会(10月) 全体研修会「環濠エリアについて」(10月) 人権を含むマナー研修(11月) 勉強会「幻の陶邑の里」(11月) 全体研修会「鉄炮鍛冶屋敷保存修理の進捗状況」(11月) 勉強会「五箇荘を探る」(12月) 勉強会「寺町再発見」(12月) 勉強会「街道と注水路」(12月)			
※令和4年度についても実施予定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年2.3月実施予定の研修等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することを目的として、中止、延期することとなった。		
状況を示す写真や資料等			
【堺観光ボランティア協会研修・勉強会風景】			
			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
堺市地場産業振興事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物や線香をはじめとする地場産業を営む中小企業者により組織された団体の事業活動にかかる経費の一部を補助することにより、地場産業の振興を図る。 【補助対象事業】 ①地場産業振興事業 ……経営の近代化及び合理化に関する事業、販路の開拓に関する事業、各種情報の収集に関する事業 ②ものづくり基盤技術継承事業……後継者の育成に関する事業、技術・技法の記録、収集及び保存に関する事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
刃物、線香など市内地場産業6団体に対し、本補助金を交付し、事業活動を支援。イベントなどの開催を通して、地場産業のPR及び販路の拡大が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○2年ぶりの対面開催となった堺線香まつり</p> 			
<p>○市内施設等での地場製品の展示(通年)</p> 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
堺市伝統産業後継者育成事業補助事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物(経済産業大臣指定伝統的工芸品)や線香(大阪府知事指定伝統工芸品)などの伝統技能の継承を図るため、後継者を雇用した事業者に人件費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内伝統産業事業者に対し、本補助金を14件(19名)交付し、後継者育成を支援。このことにより、「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○刃物製造技法の指導育成



○染色(注染)技法の指導育成



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
まちなみ再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、改修が進められた町家歴史館「山口家住宅」をはじめとする町家のほか、多くの寺社が立地する寺町など、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺(堺環濠都市北部地区)について、歴史文化資源を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を実現する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

協議会との協働により、協議会ニュース(vol.29、30、31、32)を発行したほか、町なみ再生イベント週間での展示等により、地域の歴史的なまちなみ保全、形成に向けた意識醸成が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○令和3年度の機運醸成等の取組み

令和3年度の取組み(公民協働の取組み)	
令和3年7月	協議会ニュースvol.29発行 「町なみ再生の現状と新しい動きをお知らせする会」の開催
令和3年10月	第10回総会開催 講演会「文化的景観による堺環濠都市北部地区のまちづくりを構想する」の開催 町なみ再生イベント週間 「町家と環濠～よみがえる環濠都市の景観～」の展示
令和3年12月	協議会ニュースvol.30発行
令和4年2月	協議会ニュースvol.31発行
令和4年3月	町なみ再生シンポジウム開催 協議会ニュースvol.32発行

・協議会ニュースvol.29、vol.30、vol.31、vol.32



・町なみ再生イベント週間の開催(令和3年10月28日～11月3日)



撮影日: 令和3年11月2日



撮影日: 令和3年11月2日

○令和3年度の修景事業



(改修前)

撮影日: 令和3年11月30日



(改修後)

撮影日: 令和4年3月4日

【おもな修景内容】

屋根瓦葺き替え、外壁の土壁及び杉板補修、開口部木製格子取付、塀の焼杉板補修等

堺環濠都市北部地区修景事業件数						
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
修景事業件数	9	4	2	4	3	22

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
百舌鳥古墳群に関する情報発信		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 百舌鳥古墳群を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、市民はもちろん、国内外にその価値と魅力を情報発信していく必要がある。①インターネットによる情報発信 本市のホームページにおいて百舌鳥古墳群の価値や魅力をCGなども活用し紹介する。②シンポジウムや講演会の実施 市民向け講演会や、海外からの有識者を招きシンポジウムを開催するなど、百舌鳥古墳群の価値や魅力を紹介する。③パンフレットやポスターによる情報発信 他言語によるパンフレットを作成し、関西国際空港での配架をはじめ、ポスターも作成し、様々な場所でPRを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の事業を進めることで歴史豊かな堺の都市魅力の発信と共有に繋がった。

○本市ホームページを活用し、タイムリーな情報発信をおこなった。

○各種団体、民間企業と連携したPRの実施

・令和4年1月14日(金)「関西古墳サミット」を開催(関西広域連合、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議と連携於:フェニーチェ堺)

・令和4年2月13日(日) 公開シンポジウム「大王墓と紀伊の首長墓」—百舌鳥・古市古墳群と岩橋千塚古墳群に映し出された政治と社会—を開催(和歌山県と連携 於:有楽町よみうりホール)

○PRちらしやポスターを作成し、PR効果が見込める場所に配架・掲出を行った。

○スマートフォン向けの周遊支援アプリを運営。

○令和3年3月にオープンした百舌鳥古墳群ビジターセンターを運営。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

世界遺産登録が実現し、今後は、古墳群の価値と魅力や、維持・保全に向けた啓発を市内のみならず、府内はもとより、関西、全国へ行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



百舌鳥古墳群ビジターセンター外観



令和4年1月14日(金) 関西古墳サミット



令和4年2月13日(日)
公開シンポジウム「大王墓と紀伊の首長墓」

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
環濠都市区域内における案内板の改善			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成18年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	神社や寺院を中心に設置している既存の施設案内板について、見やすさや分かりやすさなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化を行い、歴史文化資源などの魅力発信と目的地への円滑な移動を誘導する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
環濠都市区域内にあり、令和2年12月に物損により破損した観光案内板【誘導案内板(櫛屋町東)】を再整備することにより、来訪者が快適に周遊できる受入環境の向上に寄与する。また、観光案内板【誘導案内板(神明町東)】等経年劣化によって汚損されている板面の改修を行った。 ※令和4年度についても実施予定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

誘導案内板 (櫛屋町東)



改修後



誘導案内板 (神明町)



改修後



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
史跡・重要文化財等公開事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 非公開の史跡や重要文化財の公開等を実施し、また歴史文化についての講座を開催し、広く市民に文化財の普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和3年12月4～5日に秋季堺文化財特別公開を実施。
参加者数:8,022人(延べ)

○令和4年3月26～27日に春季堺文化財特別公開を実施。
参加者数:3,874人(延べ)

※令和4年度についても実施予定

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



秋季文化財特別公開チラシ
(開催日:令和3年12月4～5日)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
学校教育の場での茶の湯体験(堺スタンダード事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが「茶の湯」の体験を通じて、自国の伝統文化を知るとともに、茶道において大切にされている「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心を育むことをねらいとして「茶の湯体験」を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度は小学校91校、中学校29校で茶の湯体験を実施。 平成30年度は小学校91校、中学校27校、支援学校2校で茶の湯体験を実施。 令和元年度は小学校92校、中学校37校で茶の湯体験を実施。 令和2年度は小学校70校、中学校校28で茶の湯体験を実施。 令和3年度は小学校30校、中学校11校で茶の湯体験を実施。 伝統文化に触れる機会を創出し、茶の湯への理解と意識の醸成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染拡大をに伴い、体験施設の休館や感染対策を徹底しての体験が難しいなど、様々な事情により今年度の実施を中止した学校が多い状況であった。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定および登録等の候補となる文化財に関する調査を継続する。市域の文化財の総合的な把握をより推進するとともに、文化財指定等を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 「小倉家住宅洋館・門」を国登録有形文化財に登録(令和3年10月14日)
 - 「堺環濠都市遺跡大坂夏の陣被災遺構出土一括資料(SKT39地点出土品)」を堺市指定有形文化財に指定(令和4年2月25日)
 - 令和2年に登録された筒井家住宅(主屋・土塀)の保存修理工事を実施
 - 堺市指定文化財の新規指定に向けて、建造物等の文化財調査
- これらを進めることで、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用に繋げた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



小倉家住宅 洋館・門



堺環濠都市遺跡(SKT39地点) 出土一括遺物 (左: 堺列建物跡SB301出土、右: 堺列建物跡SB302出土)
 (堺市博物館2006年『茶道具拝見-出土品から見た堺の茶の湯-』より)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
町家等の歴史的建造物を指定の基準に沿って歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等の意向や建造物の損傷状態の調査を行い、保存・修理・修景に対する助成を行う。
百舌鳥古墳群では、平成28年度より整備基本計画の策定に着手し、古墳の修景や復元等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

以下の事業を進めることで文化財への理解を深め、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。
「百舌鳥古墳群整備事業」(再掲:評価軸③-1:P3を参照)御廟表塚古墳環境整備実施設計を実施した。
「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P4を参照)
「まちなみ再生事業」(再掲:評価軸③-1:P10を参照)
「環濠都市区域内における案内板の改善」(再掲:評価軸③-1:P12を参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



御廟表塚古墳環境整備イメージ図



井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)保存修理工事写真

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の防災		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

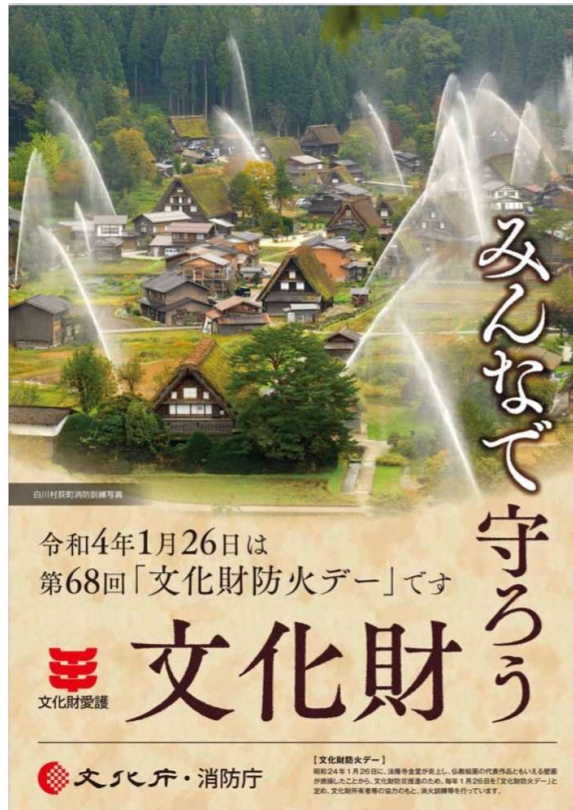
計画に記載している内容
 文化財を災害から保護するため、防災意識の高揚、防災設備等の整備を図り、住民、文化財の所有者又は管理者等に対する防災意識の普及と啓発を進めるとともに、消防局並びに関西電力株式会社、大阪ガス株式会社と連携を行い、定期的に防災設備の保守点検等や啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーの実施(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から所轄消防署による通信指導を実施)
 ○令和4年1月25・26日 指定文化財寺社等28箇所

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



令和3年度 文化財防火デーポス

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
埋蔵文化財の取扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為の実施にあたっては、開発に伴う文化財保護法に基づく届出又は通知の提出を徹底するとともに、開発に際して埋蔵文化財を確認した場合には、工法の検討や、計画変更によって埋蔵文化財の地下保存などの措置を協議し、遺構の保護に努めるほか、やむを得ない場合は、記録保存などの対応についても速やかに実施していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内には堺環濠都市遺跡や大山古墳、ミサンザイ古墳等の各古墳、陵西遺跡などの埋蔵文化財包蔵地があり、開発に対しては、文化財保護法による届出または通知に基づき適切に指導している。
 令和3年度は、堺環濠都市遺跡に位置する鉄砲鍛冶屋敷の発掘調査で、近世の鍛冶に関連する遺構を確認した。また、宮内庁が実施した大山古墳の発掘調査について調査協力を行った。
 これらを通して、各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



鉄砲鍛冶屋敷(堺環濠都市遺跡)の発掘調査で確認した鍛冶関連の遺構

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組み、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本市の文化財の価値を広く後世に伝えるため、文化財の活用を進めながら、観光ボランティアガイドをはじめとする各種団体等と連携を行い、普及・啓発するための機会の提供に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P4を参照)鉄砲鍛冶屋敷の瓦記名会、シンポジウム、パネル展を開催した。 「市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み」(再掲:評価軸③-1:P5を参照) 「堺市地域文化遺産活用活性化事業」(再掲:評価軸③-1:P6を参照) 「ボランティアガイドの育成・支援」(再掲:評価軸③-1:P7を参照) 「百舌鳥古墳群に関する情報発信」(再掲:評価軸③-1:P11を参照)関西古墳サミットを開催した。 「史跡・重要文化財等公開事業」(再掲:評価軸③-1:P13を参照) これらの取組を通して歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の一層の発信と共有に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムシンポジウム(令和3年11月14日開催)			
	シンポジウム動画をオンデマンドで配信 (令和3年11月22日～令和4年1月11日)		
			
○鉄砲鍛冶屋敷パネル展			
			
鉄砲鍛冶屋敷近隣のショッピングモールで開催したパネル展の様子 (令和3年10月7～12日)	図書館で開催したパネル展の様子 (令和3年12月8～14日)		
			



史跡・重要文化財等公開事業堺文化財特別公開パンフレット



令和4年1月14日(金) 関西古墳サミット

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道(主な記事の抜粋)

		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
百舌鳥古墳群周辺区域関連	古墳の魅力 上空散歩 上空から撮影した動画をインターネットで紹介	令和3年4月1日	朝日新聞(夕)
	堺市の気球事業 優先交渉先決定 兵庫の連合体	令和3年4月6日	読売新聞
	仁徳陵 台風21号で被害 倒木 墳頂の埴輪	令和3年4月13日	産経新聞(夕)
	「倭の五王」の世紀 古代史の謎 海越えカギ	令和3年5月12日	朝日新聞(夕)
	古墳ロマン 堺市博物館 検索アプリ公開	令和3年5月13日	読売新聞
	おでかけスポット ステイホーム編 堺市博物館 古墳巡る 国際交流学芸員が動画解説	令和3年5月14日	日経新聞(夕)
	世界遺産 コロナ下の光 百舌鳥・古市古墳群 登録2年 水質調査を再開	令和3年7月6日	読売新聞
	仁徳陵発掘の埴輪 初公開 堺市博物館 来月26日まで	令和3年8月19日	産経新聞(夕)
	百舌鳥の歴史彩る ふとん太鼓 だんじりから転換 「地域や文化財知って」 八幡宮と祭り紹介 氏子ら冊子作成	令和3年9月15日	朝日新聞
	仁徳陵 来月から再発掘 保全整備へ現状把握	令和3年9月28日	毎日/読売/産経/日経/朝日
大山古墳 埴に2列 内側の第1埴 築造時の遺構か	令和3年11月19日	朝日/毎日/読売/産経/日経	
レゴでできた世界遺産60点	令和3年11月25日	読売新聞	
古墳サミット 堺で来月14日 参加者募る	令和3年12月10日	読売新聞	
環濠都市区域関連	中世の堺 VR探訪 利休の茶の湯体験も きょうから利晶の杜	令和3年4月7日	読売/朝日/産経
	散策 古地図で楽しんで、市内業者がデータなど譲渡	令和3年4月17日	産経新聞
	100歳現役へ 応援してや! 進む腐食 阪堺電車、修繕費募る	令和3年4月21日	朝日新聞(夕)
	収蔵品の高精細画像 ネットで77点公開 堺市博物館	令和3年5月5日	読売新聞
	阪堺線110周年切手 「モ161号」写真使用 10日発売	令和3年6月8日	読売新聞
	包丁鍛冶 炎繰る切れ味	令和3年7月6日	産経新聞(夕)
	利休の町を歩こう 生誕500年へ 堺で催し 18日から3回	令和3年9月12日	朝日新聞
	ちん電初の駅弁は堺名物あなご寿司	令和3年10月16日	産経新聞(夕)
	道路 イベント空間に 堺の大道筋 12、13日社会実験	令和3年11月10日	産経新聞
	刃物加工 科学的に分析 堺 熟練の技 習得しやすく	令和3年12月8日	産経新聞(夕)
堺の伝統産業 ゴルゴPR 市がポスター掲示	令和4年1月7日	読売新聞	
その他	企画展「堺敷物ものがたり」開催 堺市博物館	令和3年7月11日	産経新聞
	国登録文化財に10件 文化審答申	令和3年7月17日	朝日/毎日/読売
	鮮やか染色 変幻自在の技 涼彩どる手拭い・浴衣	令和3年7月20日	日経新聞(夕)
	「堺大魚夜市」オンラインで 31日から 焼き穴子など販売	令和3年7月26日	朝日新聞
	堺敷物「王国」のあゆみ 企画展の内容 動画に 堺市博物館	令和3年9月21日	朝日新聞
	まちの記憶 浜寺公園 大阪府堺市・高石市 詠まれ 守られ 愛され 松林	令和3年9月27日	朝日新聞(夕)
	まちかど人間録 堺に根付け 古代米の活用	令和3年10月4日	産経新聞
自転車タクシーでオンライン堺観光 参加募る	令和3年11月10日	読売新聞	
ミュシャ 絨毯でよみがえる 敷物王国 伝統の技	令和3年11月11日	朝日新聞(夕)	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致の維持及び向上に記載される事業が行われ報道されることで、市民の歴史的風致に対する関心・認識が高まり「歴史遺産の保存・活用」への啓発に寄与していることが推察される。			
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和3年度
項目			
文化観光拠点における展示の充実による魅力の向上			
計画に記載している内容	本市が文化振興のために収集してきた美術コレクションのなかから、テーマに即した作品を展示し公開する。所蔵作品展を開催することで、市民をはじめ多くの方々に広く美術作品に親しみ、文化芸術に関する知識や理解を深めていただく機会とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
○第23回堺市所蔵美術作品展「木村嘉子(きむらよしこ)展—色彩表現の探求“生きることは変化すること”」(令和3年6月26日(土)~7月25日(日))			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	展示作品を通して「抽象絵画とは何か」について初めての方にも理解いただけるよう、ワークシートを配布した。		
状況を示す写真や資料等			
○イベントパンフレット			
			
「木村嘉子(きむらよしこ)展—色彩表現の探求“生きることは変化すること”」			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

環濠都市堺の魅力発信による意識醸成

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

堺環濠エリアの歴史文化の継承とともに新たな魅力を創出し、生活する人も訪れる人も愛着が持てる活気ある堺の実現に向けて、本市と地域のまちづくり団体等で構成される「堺環濠町づくり協議会(通称:環濠茶論)」を平成29年3月に設立した。これまで協議会事業としてSNSを活用した情報発信やイベントの開催など、堺環濠エリアの認知度向上や市民意識の醸成に向けて取り組み、歴史の重層性により育まれた堺の都市魅力の発信と共有を図ってきた。

今年度は、11月に大道筋において道路空間の将来を見据え、オープン空間を創出することにより、安全・快適なまち歩きや自転車による周遊、賑わいを創造するため、公民連携で社会実験を実施した。その他の取組として、堺環濠エリアと百舌鳥古墳群周辺に興味を持ち訪れていただくとともに、その魅力を動画により全国へ発信するために、市民等を対象としたインスタ動画募集のイベントを開催した。

○令和3年度の取組

- ・令和3年4月 第1回堺環濠町づくり推進協議会開催(書面開催)
- ・令和3年7月 第2回堺環濠町づくり推進協議会開催(書面開催)
- ・令和3年9月 第3回堺環濠町づくり推進協議会開催(書面開催)
- ・令和3年11月 大道筋社会実験実施
- ・令和3年11月 魅力発信の取組(インスタ動画企画)
- ・令和4年3月 第4回堺環濠町づくり推進協議会開催(書面開催)

○Instagram 令和3年度投稿数:21、令和3年度リーチ数:8099、フォロワー数:602 (令和4年3月時点)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○インスタ動画募集チラシ

項目

自転車等による回遊性の向上(1)(自転車タクシー走行実験の実施)

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○自転車タクシー観光周遊は、堺観光コンベンション協会が令和3年3月より運営を開始している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○自転車タクシー観光周遊の様子等(令和2年度の様子)



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

自転車等による回遊性の向上(2)(「SAKAI散走」の実施)

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

散歩するようにゆっくりと自転車で、点在する名所や旧跡などを巡る「SAKAI散走」を実施することにより、堺の歴史や文化に触れるきっかけづくりやまちを巡ることでの回遊性向上及びまちの賑わいの創出を図る。また、散走を通じてあらためて自分のまちの良さや魅力に気づき、個々に伝えていくことでまちの活性化及び継続したまちづくりにつなげていくことを目的とした講座を開催。

○動画配信により自転車を活用した堺の魅力発信を実施(主催:堺 自転車のまちづくり・市民の会)
○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「SAKAI散走アンバサダー要請講座」を中止。今後の開催方法としてWeb上での開催等を検討中。なお、「SAKAI散走」は堺市中心市街地活性化協議会が主催で2回開催した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし
- ・継続した取組みを進めるための組織作り
- ・人材育成

状況を示す写真や資料等

●堺 自転車のまちづくり・市民の会



●堺イルミネーション散走



自転車等による回遊性の向上(3)(民間事業者主導によるシェアサイクルの導入の検討)

計画に記載している内容 「歴史的風致の維持及び向上に関する方針」
数多くの来訪者が堺の歴史や文化に触れ、感じ、共感してもらえるよう、現存する資源を有効活用し、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

シェアサイクルとは、複数のポート(自転車の貸出・返却拠点)を設置し、利用者がどこのポートでも貸出・返却できるシステム。

世界遺産の百舌鳥古墳群や旧市街地・環濠エリアなど堺の歴史文化を自転車で周遊できるようポートを設置することで回遊性を高め、堺の魅力発信やまちの賑わい創出などにつなげていく。

令和元年度 計21ポート(実証実験開始)
令和2年度 計55ポート(ポート増設及びエリア拡大)
令和3年度 4月17日 ポート増設 1ポート
6月29日 エリア拡大 堺市美原区7ポート、東区1ポート
9月29日 エリア拡大 堺市中区 7ポート
ポート増設 5ポート
12月15日 ポート増設 11ポート
合計89ポート

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

・回遊性向上に向けたポート設置場所の検討及び利用促進の周知啓発

状況を示す写真や資料等

○令和2年3月10日 堺市シェアサイクル実証実験開始

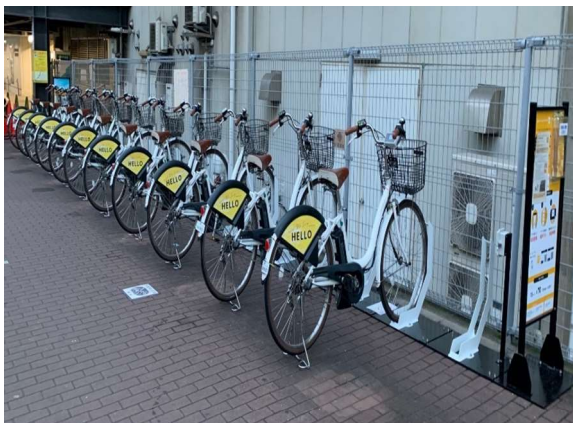


↑【御陵前交差点ポート】



【JR百舌鳥駅前東口ポート】→

↓【ポルトラス堺(堺駅西口)ポート】



↓【堺市役所前ポート】



評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 堺市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和4年3月30日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1) 1期計画の評価について</p> <p>■ 1期計画の最終評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1期計画の最終評価で得られた成果と残された課題の確認作業をした上で、2期計画の目的や目標を定めるべき。 ■ 2期計画の策定に向けて ・ハードとしての整備の進捗具合、それが地域の活動にどう影響したか、市民の意識がどう転換したかを計画の評価軸の設定としてはどうか。それらを整理することで、2期への課題整理となるのではないか。 ・1期計画で整備したものを2期計画でどう活用するか点検が必要ではないか。 <p>(2) 第2期計画の策定について</p> <p>■ 計画骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致維持向上計画を策定することを通じて、堺の隠れた豊かさを発掘できるのではないか。 ・歴まちは3省共管事業であり、ただ単に、文化財としての歴史資源を保存し活用することを考えるのではなく、それを核とした市街地環境、まちづくりや地域づくりとつないでいくことが大事な論点である。 ・1期と2期との違いをメリハリをつけるべき。2期はどのように変えていくのか、継続していくのかを明記してはどうか。 <p>■ 方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備ではなく、市民が誇りに思い、外から来た人に自慢できるようなところを追求しないといけない。 ・1期計画では、世界遺産に登録され、古墳のある街に暮らすことが見えてきた。2期計画では、さらに周辺住民の暮らしと活動を整えるような書き込みへの議論が必要。 ・堺は、歴史が重層化しているまちであることが最大の魅力。歴史を感じれることを付与していくことが大切。 <p>■ 歴史的風致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2期計画の策定では、重点区域以外の歴史的風致についても考え方の整理を行うこと。 歴史的風致のエリアについては、ラインを引く前に歴史的風致をどう理解するのかを大事にするべき。 ・海浜行楽の歴史的風致の中で、浜寺公園や大浜公園の開設経過について、市街地環境を含め触れること。 ・浜寺や大浜は、海浜行楽だけではなく、郊外住宅地としても重要。堺の街がどう変わったのか、都市開発、高級住宅地としての変遷を意識して追記してみてもどうか。 <p>■ 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節目となるような事業の検討が必要。世界遺産となって5年、10年などが含まれる。事業を実施することで、市民が誇るようなきっかけとするべきである。 ・インバウンドが回復するまで時間がかかる中、市民のマイクロツーリズムをどうつなげていくのかを考えないといけない。(観光移動などを通しての意識誘発) ・歴史の町なので、歴史文化を活用しながら、自転車の走行環境の改善も必要なのではないか。 ・堺の小中学校での古墳の取り組みをどのように行っているのか。なければカリキュラムと合ってもよいのではないか。 ・観光庁が観光教育に力を入れ始めた。堺の本質は、国際都市であったことから国際的な交流事業も追加してはどうか。 <p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2期計画に記載する課題・方針は、1期最終評価の成果・課題の検討を踏まえたものとする。 ・2期計画が文化財の整備にとどまらず、市街地環境や地域づくりの取組みと連携できるようヒアリング・調整を実施する。また、整備した施設を活用して、市民の意識醸成や来訪者数増加につながる施策について記載を検討する。 	